交流の絆を　さらに　未来へ

伊丹市姉妹都市提携35周年

伊丹市

■面　積
25.09㎢
■人口・世帯数
197,699人・79,987世帯（6月1日現在）
■姉妹都市提携
昭和55年4月17日
■特徴
豊かな歴史に恵まれ、現在もその息吹きの感じられるまち、在空都市の利点を生かしたハイテク産業のまち

大村市

■面　積
126.66㎢
■人口・世帯数
94,317人・40,809世帯（5月31日現在）

昭和55年4月17日、大村市は兵庫県伊丹市と姉妹都市の提携を結び、民間・行政の両面でさまざまな交流を続けてきました。

今年、提携35周年を迎え、記念式典を本市で開催します。

姉妹都市提携を伝える当時の市政だより（昭和55年5月号）

伊丹市・大村市 姉妹都市提携35周年 記念式典参加者募集

伊丹市の姉妹都市である「島根県飯南町」と合同で記念式典を実施します。

とき　8月3日㈪、午後2時
ところ　さくらホール
内容　記念式典、すわんこ太鼓、大村少年合唱団、OMURA室内合奏団アンサンブル
申込方法　電話で申し込み
申込先　観光振興課（内線242）
申込期限　7月17日㈮

大村・飯南・伊丹味覚の会

毎年、伊丹市で開催されるこの会は、伊丹市と姉妹都市の島根県飯南町の3市町が集い、それぞれの郷土料理や特産品を持ち寄って姉妹都市間の交流を深めています。

おおむら夏越まつり

「おおむら夏越まつり」に合わせて訪問団が訪れます。「WASSHOIいたみ」を披露した後は、一緒に夏越総踊りで熱い大村の夜をともに盛り上げていただいています。

市長コラム vol.43

姉妹都市との絆の大切さ

皆さん、大村市の姉妹都市をご存じですか。国内では、秋田県仙北市（旧角館町）と兵庫県伊丹市です。

旧角館町とは、戊辰の役の際、東北地方唯一の新政府側だった佐竹藩が孤立し、大村藩に援軍を求め、大村藩士326人からなる北伐隊が進軍し、角館を守り抜いたという歴史があります。

この時、大村藩の戦死者のひとり、15歳の鼓手・浜田謹吾少年の軍服には、母が出陣の際に詠んだ「二葉より 手くれ水くれ 待つ花の 君が御為（みため）に 咲けやこの時」という和歌が縫い込まれていました。母が子に寄せる心情は、昔の人々の涙を誘い、一世紀以上経過して姉妹都市提携につながり、昨年35周年を迎えました。

昨年の夏休みには、大村少年合唱団が東日本大震災の慰問の折、仙北市を訪問し、角館の子どもたちと音楽を通じた貴重な交流を行いました。

一方、伊丹市とは、歴史的な結び付きに加え、空港がある共通点を持つことから、昭和55年に姉妹都市を提携しました。

伊丹市の姉妹都市・島根県飯南町も含めて開かれている「大村・飯南・伊丹味覚の会」に毎年お招きいただき、3市町の郷土料理や物産を通して交流を深めています。また、毎年おおむら夏越まつりにも参加され、盛り上げていただいていることは感謝に堪えません。

今年、大村市、飯南町ともに伊丹市との姉妹都市提携35周年を迎えるため、記念式典を夏越まつりに合わせて、大村市で開催します。ぜひ、多くの市民の皆さんに参加いただければと思っています。

これからも、長年にわたり取り組んできた姉妹都市交流の深い絆を絶やすことなく、心のつながった交流を続け、子どもたちへ、そして未来へとつなげてまいります。

ぜひ、市民の皆さんも本市にゆかりのある姉妹都市を訪れてみてはいかがでしょうか。